

## 第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）の策定について（報告）

奈良市では平成28年度に奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）を策定し、子どもの貧困対策を推進してきました。この度、令和元年に改正された国の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」及び「子供の貧困対策に関する大綱」や新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）を策定しました。

### 1. 目的

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右され、経済的な困難状況が世代を超えて連鎖するといった「子どもの貧困」が社会問題となっております。これからの社会を担う子どもたちの無限の可能性を断ち切ることなく、「すべての子どもが今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望を持って成長していけるような、子どもにやさしいまち」の実現をめざします。

### 2. 計画の位置づけ

子どもの貧困対策の推進に関する法律第4条に基づくものであるとともに、「奈良市第5次総合計画」及び「第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画」を上位計画としています。また、計画の推進にあたっては、関連する本市の各分野の計画との連携・整合性を十分に考慮しつつ、柔軟に施策を展開します。

### 3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。また、法律・大綱の改正や社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを図ります。

### 4. 策定経過

- ・令和3年11月 市内在住小学5年生とその保護者、中学2年生とその保護者に、「奈良市子どもの生活に関するアンケート調査」実施
- ・子どもの豊かな未来応援プラン（子どもの貧困対策）推進会議で計画案について協議
- ・令和4年2月から1か月間パブリックコメント実施後、令和4年3月計画策定

## 5. 計画内容

別紙「第二期奈良市子どもの豊かな未来応援プラン（奈良市子どもの貧困対策計画）」のとおり

## 6. 主な 変更点

### 第一期計画

#### 第3章 施策の展開

##### 施策の柱

本市では、子どもを取り巻く課題に対応するため、4つの視点「教育支援」「生活支援」「経済的支援」「関係機関と連携した支援」を施策の柱に位置付け、個別施策の充実を図ります。

施策の柱1 教育支援の充実

施策の柱2 生活支援の充実

施策の柱3 経済的支援の充実

施策の柱4 関係機関と連携した支援の整備



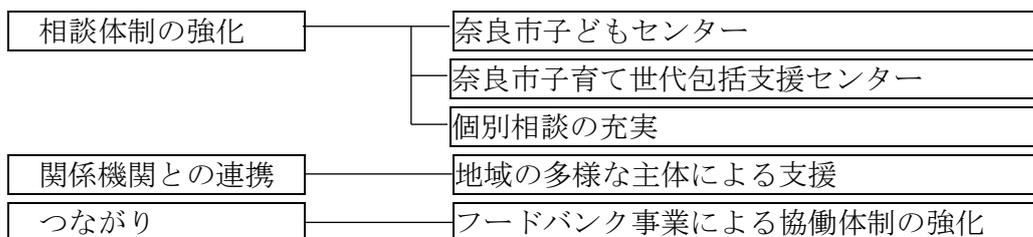
### 第二期計画

#### 第2部 対策推進編（第二期計画 p 34～49）

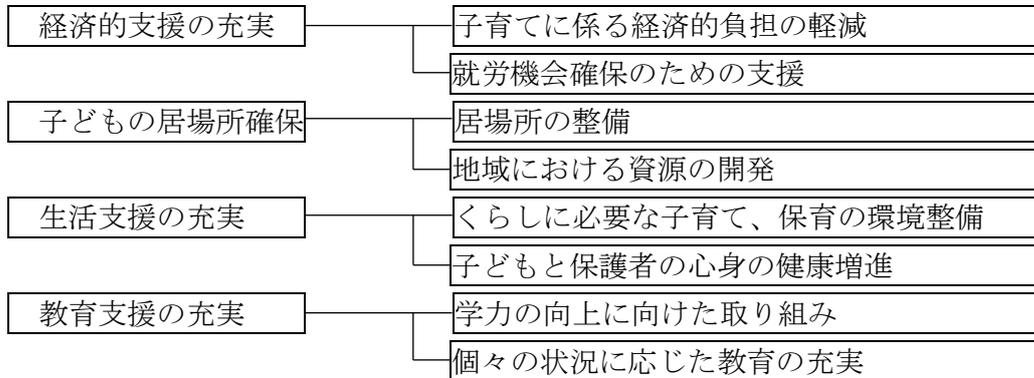
第一期計画は、施策の4つ柱を元に個別施策の充実を図って参りましたが、第二期計画においては、**I.関係機関と連携した支援の整備 II.施策の継続的な取り組み III.ひとり親家庭への支援**の3つの観点から子どもの貧困対策に取り組んで参ります。

具体的には、「相談体制の強化」は、奈良市子どもセンター内にある「子ども家庭総合支援拠点」が子育て家庭に関わる相談について総合的な受付を行い、必要とする支援を見つけ、関係機関との連携を図ります。ひとり親世帯の相対的貧困層の割合が56.1%と依然として高いことが今回のアンケートで明らかになったことを受け、「ひとり親家庭への支援」を強化します。従来の方針に関しては、「継続的な取り組み」として個別施策の充実を図ります。

#### 第4章 関係機関と連携した支援の整備



第5章 施策の継続的な取り組み



第6章 ひとり親家庭への支援 — 各種制度による負担の軽減